

2017年8月21日
株式会社パスコ

(報道資料)

超高齢社会の企業マーケティングを支援する統計情報 「年齢階級別世帯貯蓄推計データ」の販売を開始

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：古川 顕一、以下：パスコ）は、立地分析や出店・店舗統廃合計画など地域分析（エリアマーケティング）システムであるMarketPlanner®（マーケットプランナー）や、年収別推計世帯数データなどのマーケティング用データを小売・サービス・不動産・自動車・通信・製造業などのお客様を中心に提供しています。

日本の65歳以上の高齢者人口は総人口の27.3%（※1）とますます高齢化が進み、企業のマーケティング戦略も比較的裕福な団塊の世代や余裕のあるシニア層などを重要視するようになりました。ところが、既存の年収データ情報では定年後のシニア層などのターゲティングが難しく、また、貯蓄に関するデータ（統計等）では年齢による絞り込みが困難で、重要なターゲットとされている経済的に余裕があるシニア層へのマーケティングとしては活用しがたいと言わざるを得ない状況です。

そこでパスコでは、世帯主の年齢階級別に世帯貯蓄額を独自に推計し、MarketPlanner® GISで活用いただける新たな統計情報を開発、「年齢階級別世帯貯蓄推計データ」（※2）を9月1日より提供開始いたします。

新たに提供を開始する「年齢階級別世帯貯蓄推計データ」は、世帯貯蓄推計と世帯主の年齢階級という2つの階級属性を持ち、シニア層に向けた企業のエリアマーケティング活動を支援いたします。

※1）平成29年版高齢社会白書より

※2）本データの活用にはMarketPlanner® GISが必要です

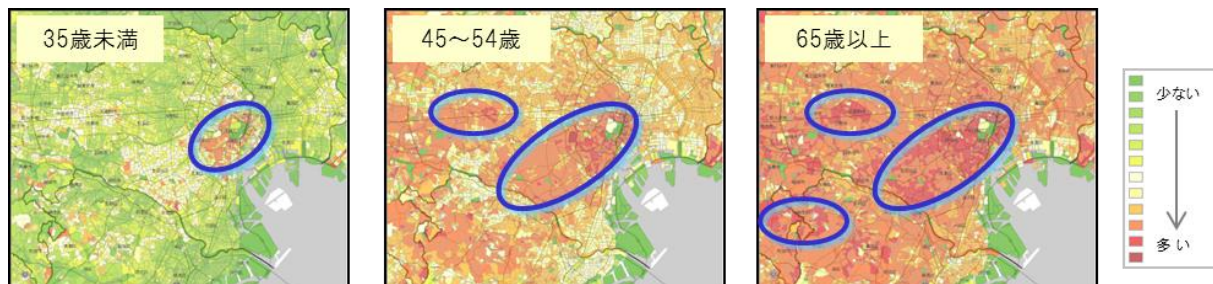
■ 「年齢階級別世帯貯蓄推計データ」について

「年齢階級別世帯貯蓄推計データ」は、総務省統計局が実施している全国消費実態調査で公表されている経済圏別・市区町村別の貯蓄階級別世帯数を、国勢調査の町丁字等別集計単位、または行政界単位（町丁目）に細分化し、年齢階級属性を付与してパスコが独自に推計（※3）したデータです。既存の世帯貯蓄推計データとは異なり、世帯主の年齢階級属性があることで、“年齢”と“貯蓄額”という2軸での分析が可能となります。

※3）縦横の合計値からクロス表の数値を推計する内挿ロジック（IPF法）を使用して、消費実態調査で経済圏別・市区町村別に公表されている貯蓄階級別世帯数を国勢調査の町丁字等別集計単位に推計（特許出願中）

■データサンプル：年齢階級による平均貯蓄推計額

年齢階級別世帯貯蓄推計データの属性項目である「年齢階級別平均貯蓄推計額」を比較



世帯主の年齢階級(例：35歳未満・45～54歳・65歳以上)が上がるにつれ、平均貯蓄額が多いエリアが都市部を中心に広がっていくことがわかります

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

<http://www.pasco.co.jp/>

(報道機関) 広報部

TEL:03-3715-1048

(お客様) カスタマーセンター

TEL:0120-494-800

お問い合わせフォーム

<http://www.pasco.co.jp/contact/>

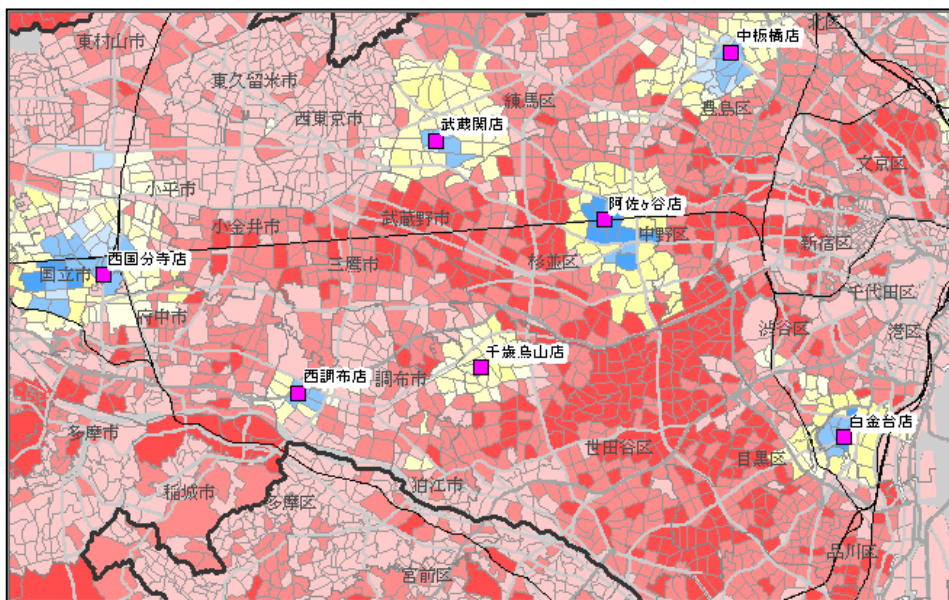
プレスリリースの内容は発表時のものです

予告なしに変更され、発売時等の情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください

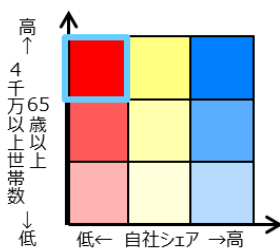
【参考資料】 データの活用例

1) 新規出店時におけるターゲットエリア選定での活用例

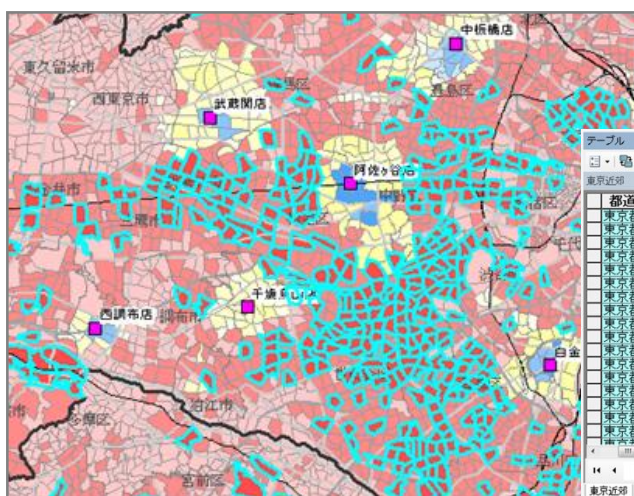
企業が保有している顧客データと「年齢階級別世帯貯蓄推計データ」を使用し MarketPlanner® GIS のクロスランキング機能で自社のシェアとターゲット層のクロス分析を実施。



顧客シェアと裕福なシニア層(65歳以上貯蓄額4000万円以上世帯数)のクロスランキング結果



自社顧客シェアが低く
ターゲットボリュームが大きいエリアを抽出
(濃い赤のエリア)
↓
ターゲットエリア



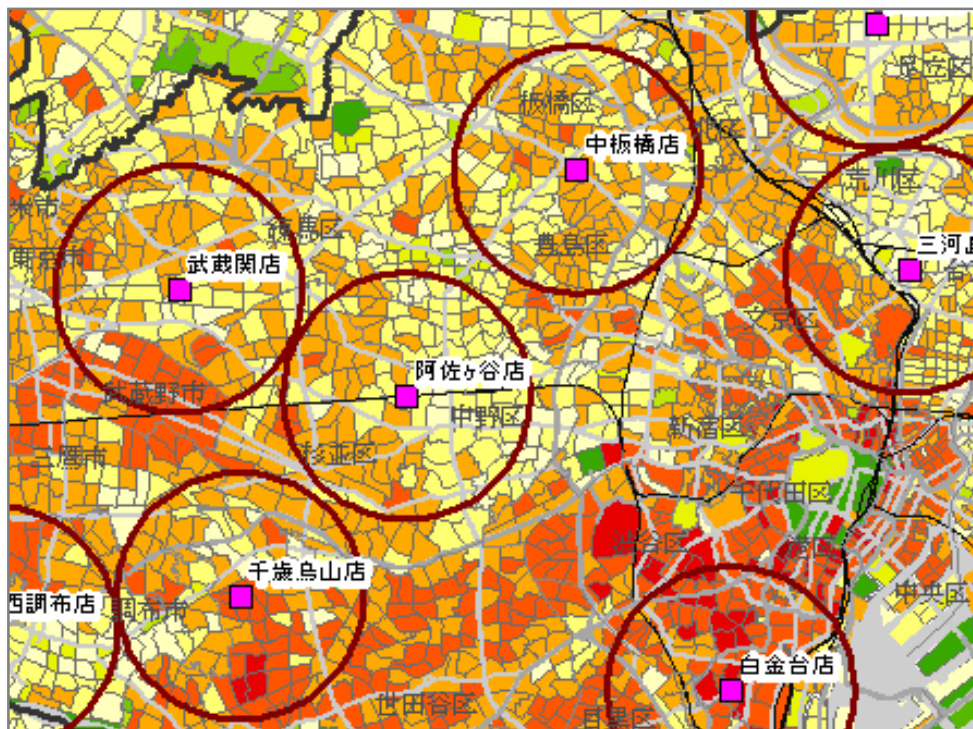
リストとして抽出も可能

都道府	支庁・振興	都・市	区・町村	町丁字名	住所	町
東京都		品川区		旗の台6丁目	東京都品川区旗の台6丁目	町
東京都		目黒区		上目黒3丁目	東京都目黒区上目黒3丁目	町
東京都		目黒区		中町1丁目	東京都目黒区中町1丁目	町
東京都		目黒区		中町2丁目	東京都目黒区中町2丁目	町
東京都		目黒区		大岡山1丁目	東京都目黒区大岡山1丁目	町
東京都		目黒区		柿の木坂1丁目	東京都目黒区柿の木坂1丁目	町
東京都		目黒区		柿の木坂2丁目	東京都目黒区柿の木坂2丁目	町
東京都		目黒区		東が丘1丁目	東京都目黒区東が丘1丁目	町
東京都		目黒区		田園調布1丁目	東京都目黒区田園調布1丁目	町
東京都		世田谷区		池尻4丁目	東京都世田谷区池尻4丁目	町
東京都		世田谷区		太子堂3丁目	東京都世田谷区太子堂3丁目	町
東京都		世田谷区		太子堂5丁目	東京都世田谷区太子堂5丁目	町
東京都		世田谷区		二軒茶屋2丁目	東京都世田谷区二軒茶屋2丁目	町
東京都		世田谷区		世田谷1丁目	東京都世田谷区世田谷1丁目	町
東京都		世田谷区		猿蓑1丁目	東京都世田谷区猿蓑1丁目	町
東京都		世田谷区		宮坂1丁目	東京都世田谷区宮坂1丁目	町
東京都		世田谷区		下馬1丁目	東京都世田谷区下馬1丁目	町

クロスランキングの結果からターゲットエリアを抽出 (水色枠の地域が対象エリア)

2) 既存店を対象とした店舗比較分析での活用例

各店舗周辺の貯蓄傾向を把握し、品ぞろえやサービスラインアップ、販売促進施策の検討に活用できます。



各店舗周辺の65歳以上の高貯蓄世帯数(貯蓄額4000万円以上世帯数)を集計

集計結果比較表作成例

店舗名	65歳以上世帯			
	世帯数	推計貯蓄 4000万以上 世帯数	推計貯蓄 4000万以上 世帯比率	平均世帯 貯蓄額 (万円)
千歳烏山店	41,508	12,804	31%	2,571
阿佐ヶ谷店	68,967	17,250	25%	2,220
武蔵関店	43,740	10,647	24%	2,343
中板橋店	69,560	11,285	16%	2,170
白金台店	45,924	15,620	34%	2,749

【阿佐ヶ谷店と中板橋店比較】

2店舗周辺の65歳以上世帯数はほぼ同数だが、推計貯蓄4000万円以上の世帯比率に大きな差があることが分かる。

こうした結果から、周辺住民の特性に合わせた、より細やかなサービスや店舗開発が行える。